

## (別紙2：評価基準)

項 目		基 準	得点配分率	
1. 実施体制等の評価			55%	
実施主体に対する評価	類似業務実績	現在や過去5年以内において、県関係機関や各自治体で同種の業務（冊子や電子書籍の制作等）を請け負い、優れた実績を残しているか	5	50
	専門知識・適格性	紙面のデザインや県の施策に関する幅広い知識・知見を持っているか	25	
	実施体制とその考え方	ディレクター、デザイナー、イラストレーター各1名以上（ただし、能力に応じて兼ねることは可能）の実施体制は十分と思われるか	20	
経費	経費の妥当性	見積額が予算の範囲内であり、かつ望ましい予算配分がなされているか	5	5
2. 提案内容の評価			45%	
企画内容に対する評価	事業目的の理解度	事業の目的や基本コンセプトを理解した上で、企画が提案されているか （チェック・ポイント） ・基本コンセプトが適切に表現されているか ・「さがすたいる」に基づいた幅広い読み手への配慮があるか など	10	35
	デザインの創造性	構成やビジュアル等、読み手の興味を引くことができるか （チェック・ポイント） ・写真、イラストの使用は効果的か ・シンプルで分かりやすい情報量で紙面を構成できているか など	15	
	内容の妥当性	県の広報に相応しい品位があり、かつアイデアに富んだ内容か （チェック・ポイント） ・行政の信頼性や品位が感じられるか ・見てもらえるようなアイデアや、読んでもらえる工夫がなされているか など	10	
総合的な評価	統一性・調和	ビジュアル・ロゴマーク使用等、他の関係要素と統一性や調和があるか （チェック・ポイント） ・デザイン（文字や色使いなど）に統一感・調和があるか など	5	10
	その他	その他、特に評価に値する点があるか （チェック・ポイント） ・提案に斬新な工夫など特筆すべき点があるか など	5	
総 計			100%	

※ 企画提案参加者が一つの場合、評点の総計が満点の6割以上であることを採択の目安とする。